

2025年1月21日
南亞塑膠工業股份有限公司
台灣三井化學股份有限公司

南亞塑膠工業と台湾三井化学、 プラスチックのバイオマス化を実現する製品の市場展開に向けた取り組みを開始

三井化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本修、以下「三井化学」）の100%子会社である台湾三井化学股份有限公司（台湾、社長：木村 貴雄、以下「台湾三井化学」）と、南亞塑膠工業股份有限公司（台湾、董事長：吳 嘉昭、以下「南亞塑膠工業」）は、三井化学製のバイオマスアセトン調達し、台湾でバイオマスビスフェノール A（以下「バイオマス BPA」）を製造、プラスチックのバイオマス化を実現する製品の市場展開に向けた取り組みを開始します。

1. バイオマス原料を用いたバイオマス樹脂の市場展開に向けた取り組みについて

台湾三井化学は、2024年8月に ISCC PLUS 認証（国際持続可能性カーボン認証、以下「同認証」）を取得し、同認証に基づいたマスバランス方式^{*1}を用いて、台湾市場への原材料供給を2025年1月より開始しました^{*2}。

台湾を代表する材料メーカーである南亞塑膠工業も2024年9月に ISCC PLUS 認証を取得しており、台湾三井化学からバイオマス原料を調達のうえ、同認証に基づいたマスバランス方式を用いてバイオマス BPA を製造し、それを用いたバイオマス樹脂（エポキシやポリカーボネート）の開発を開始します。

バイオマスアセトン、バイオマス BPA およびバイオマス樹脂は、従来の石油由来の化学品・樹脂と比べていずれも物性が同等であり、従来品から容易に切り替えることができるため、製品ライフサイクル全体における GHG 排出量の削減に寄与し、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

2. 今後の展開

台湾三井化学は、2025年1月よりマスバランス方式を用いたバイオマスアセトンの提供を開始しており、これを皮切りに両社で本取り組みを通して、プラスチックのバイオマス化に資する製品の拡販を目指し、サプライチェーン全体における環境に配慮した製品の開発・生産を進めていきます。

*1 マスバランス方式とは、持続可能性原料とそれ以外の原料を混合して製造した製品に、投入した持続可能性原料の割合に応じた成分を製品に割り当てるもので、ISCC PLUS システムで認められた管理手法です。

*2 2025年1月16日 三井化学プレスリリース https://jp.mitsuichemicals.com/jp/release/2025/2025_0116_1/index.htm

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

南亞塑膠工業股份有限公司

副總經理：陳 振容 (+886-2-2712-2211)

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 (TEL : 03-6880-7500)

お問い合わせフォーム https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja?param=13